

保育士の自己点検・自己評価のためのチェックリスト

平成29年度

		評価ランク	A	B	C	D
			必ず実施	大体実施	余り実施せず	実施せず
	第1章 総則	A	A	B	C	D
1	「保育方針」「保育計画」を説明できますか			2	4	
2	「保育方針」「保育計画」に基づき保育をおこなっていますか			2	4	
3	子どもの最善の利益を考慮し、人権に配慮した保育ができていますか			3	3	
4	保育の「ねらい」や「内容」を保護者にわかるように説明できますか			3	3	
5	保育所は、子どもがその生活時間の大半を過ごす場であることの意味を理解していますか			5	1	
6	入所・利用している子どもの個人情報(あなた自身の)管理は、適切だとおもいますか			5	1	
7	職業上知り得た子どもに関する情報について、適切な理由無く家族や友人にも、話さないようにしていますか			6		
8	あなたの園の苦情解決システムについて説明できますか			1	5	
	第2章 子どもの発達	A				
9	乳幼児期は、生涯にわたる「生きる力」の基礎が培われる時期であることを理解して、保育を実施していますか			5	1	
10	子どもの発達は、豊かな心情、意欲、態度を身につけ新たな能力を獲得していく過程であることを理解していますか			5	1	
11	子どもの発達の特性や発達過程を理解し、「発達の連続性」に配慮して保育をしていますか			3	3	
12	子どもと生活や遊びを共にするなかで、一人一人の子どもの心身の状態を把握していますか			6		
13	子どもの情緒を安定させ、人への信頼感を育てるために一人一人の子どもを愛し、信頼していますか			6		
14	子どもは様々な環境との相互作用により発達していくことを理解していますか			6		
15	子どもが興味や関心を示し、自発的に働きかけることができるように、身近な環境を整えていますか			3	3	
16	子どもが自主的に関わる環境を用意していますか			2	4	
17	子ども同士の関係の基礎となるように、あなたは一人一人の子どもと信頼関係を構築していますか			6		
18	心身の発達の個人差を理解するために、一人一人の生理的、身体的の諸条件や生育環境の違いを把握していますか			5	1	
19	仲間との関係の中で「個」の成長も促すことを意識して、遊びを展開していますか			4	2	
20	豊かな感性とともに好奇心、探究心や思考力が養われるような保育を工夫していますか			2	4	
21	発達過程区分は、同年齢の均一的な発達の基準ではなく、一人一人のこどもの発達過程としてとらえていますか			5	1	
22	発達上課題のある子どもに対して子ども自身の力を十分に認め、適切な援助及び環境構成を行っていますか			4	2	
23	保育所の生活になじみにくい子どもに対しても、一人一人に応じた適切な援助及び環境構成を行っていますか			3	3	
	第3章 保育の内容 1. ねらい・内容	A				
24	保育の内容は目標を具体化した「ねらい」とさらに具体化した「内容」とから構成されていることを理解していますか			5	1	
25	保育所保育は「養護と教育」が一体となって展開されることに留意していますか			5	1	
26	「養護」とは、子どもの生命の保持と情緒の安定を図るための援助であることを理解していますか			6		
27	「教育」とは、子どもが健やかに成長し、活動がより豊かに展開されるための援助であることを理解していますか			6		
28	「教育」とは、心情、意欲、態度など子どもが身につけるための援助であることを把握していますか			6		
29	「養護」が基準となって5領域における活動や体験が展開していくことを理解していますか			4	2	
	第3章 保育の内容 1. ねらい・内容 (1)養護(生命の保持・情緒の安定)	A				
30	指導計画や記録には、いつも養護面の配慮が記載されていますか			5	1	
31	一人一人の子どもの生理的欲求が十分に満たされるよう配慮していますか			4	2	
32	登園時の子どもの健康観察を行っていますか			6		
33	子どもが触れたりする物や場所など、衛生的な環境を保てるように常に気をつけていますか			4	2	
34	子どもが自分の場を確保できるような配慮をしていますか			3	3	
35	いつでも安心して休息できる雰囲気やスペースを確保していますか			2	4	
36	子どもが何を求めているか、いつでも思いをめぐらしていますか			5	1	
37	子どもとの温かなやり取りやスキンシップを常に心がけていますか			6		
38	子ども一人一人にわかりやすい温かな言葉で、おだやかに話しかけていますか			4	2	
39	子どもが不安定になった時にいつでも支えられるよう、一人一人を視野にいれていますか			4	2	
40	「早くしましよ」など、せかさ言葉を不必要に使わないで、状況や一人一人に合わせた対応を心がけていますか			2	4	
41	「だめ」、「いけません」など制止する言葉を不必要に用いないようにしていますか			3	2	1
42	「待って」、「あとで」などと言わずに、なるべくその場で対応するようにしていますか			2	4	
43	「できない」、「やって」などと言ってくるとき、その都度気持ちを受け止めて対応していますか			4	2	

44	「いや」などと、駄々をこねる子どもの気持ちをくみとろうとしていますか		6			
45	登園時、泣く子どもに対して、放っておいたり、叱ってしまうことがないようにしていますか		6			
46	登園時、子どもの状況に応じて、抱いたり、やさしく声をかけたりしていますか		6			
	第3章 保育の内容 1. ねらい・内容 (2)教育 1)健康	A				
47	十分に身体を動かせるよう、時間と場所を確保するなどの配慮をしていますか					
48	戸外で遊ぶ機会を多く取り入れていますか		5	1		
49	友だちと一緒に体を動かすことを楽しめるように働きかけていますか		5	1		
50	保育士が率先して身体を動かすなど、子どもがその楽しさを体験できるよう配慮していますか		4	2		
51	健康な生活のリズムを身につけるよう、子どもの一日の生活の流れを考えながら保育していますか		6			
52	戸外の活動のあと、子どもがていねいに手を洗っているか、その都度確認していますか		5	1		
53	自分の身体を大切にすることを育つよう、視聴覚教材などを用いて話をする機会をもっていますか			6		
54	食事の前や排泄の後の手洗いを励行するなど、清潔の習慣が身につくよう援助していますか		6			
55	食事、排泄など、生活に必要な活動の仕方を身につけるよう、働きかけていますか		6			
56	食事・おやつ準備や片づけに参加したり、自分たちでできるよう配慮していますか		6			
57	衣類の着脱を自分でやろうとしている子どもの気持ちを大切にしていますか		6			
58	危険に気づいて行動できるよう、安全についての心構えを日頃から話していますか		6			
59	歯磨き指導など、病気の予防に必要な活動を適宜取り入れていますか		2	4		
	第3章 保育の内容 1. ねらい・内容 (2)教育 2)人間関係	A				
60	子どもが、保育士や友だちと共に過ごすことの喜びを感じることができるような配慮をしていますか		5	1		
61	園生活の中で、自分でできたという充実感を味わえるような体験を取り入れていますか		6			
62	友だちと一緒に喜んだり悲しんだりすることができる機会をつくっていますか		5	1		
63	つまづきや葛藤、けんかななどを、子どもの育ち(発達)に欠かせないものとして捕らえ、対処していますか		6			
64	子ども同士が思ったことを相手に伝え、相手の思っていることにも気づけるように援助していますか		4	2		
65	友だちと積極的に関わることで、友だちのよさに気づくよう援助していますか		5	1		
66	友だちと一緒に一つのことをやり遂げることにより、達成感が味わえるような機会をつくっていますか		4	2		
67	良いことや悪いことに気づき、考えて行動することができるように配慮していますか		6			
68	困っている友だちのことを心配するなど、思いやりを持てるよう援助していますか		6			
69	園生活の中で、順番を守るなどきまりの大切さを理解できるように、ていねいに説明していますか		6			
70	あそびのルール(きまり)を子どもたちが自らつくっていく過程を大切にしていますか		4	2		
71	共同の遊具や用具を大切に使うことを、活動を通して体験できるよう配慮していますか		6			
72	当番活動や保育士の手伝いをするなど、人の役に立つ喜びを味わえるようにしていますか		5	1		
73	当番活動などは「やってみたい」という気持ちを大切にしていますか		5	1		
74	高齢者や地域の人と関わり、親しみや感謝の気持ち味わうことができる機会をつくっていますか		1	4	1	
75	家族などから、自分がたくさんの愛情を受けて育ってきたことを知る機会をつくっていますか		2	4		
76	外国人など、自分と異なる文化を持った人に親しみを持つ機会をつくっていますか			1	5	
	第3章 保育の内容 1. ねらい・内容 (2)教育 3)環境	A				
77	身近な自然を通して、その美しさ、不思議さなどに気づくことができるようにしていますか		6			
78	心のやすらぎや、豊かな感情を体験できるように、子どもと自然との触れ合いを大切にしていますか		6			
79	水や砂や土など使って、その性質や仕組みにあった遊びを展開できるように工夫していますか		3	3		
80	その日の天候・気象に合わせた保育をしていますか		6			
81	身近な動植物を飼育・栽培するなど、それらに興味や関心を持つことのできるよう配慮していますか		6			
82	身近な自然現象に触れ「どうして」や「なぜ」といった疑問に対して、一緒に調べたり考えたりしていますか		2	4		
83	子どもが身近な動植物に自分からさわろうとする時、何が一番気をつけなければいけないか、いつも考えていますか		3	3		
84	子どもが身近な動植物の世話をするなかで、生命の尊さに気づくよう話しかけていますか		1	5		
85	園庭や散歩で集めた葉や木の実など、季節感のある素材を保育のなかで活用していますか			6		
86	自分のもの、他人のもの、共同のものとの区別気づけるような機会を提供していますか		4	2		
87	集めてきた木の実を数えたり、数量や図形などに関心を持つよう工夫していますか		2	4		
88	身の回りにある簡単な標識や文字に関心を持ち、その意味や役割がわかるよう配慮していますか		2	4		
89	地域の公共機関を利用するなど、近隣の生活に興味をもてるように配慮していますか		1	4	1	

90	園外保育などで地域で働いている人たちに出会う機会をつくっていますか		1	3	2	
91	あなたは、社会の出来事について、子どもにわかりやすく説明できますか		1	4	1	
92	さまざまな国の旗をつくってかざることによって、いろいろな国に興味や関心を持てるようにしていますか		1		3	2
	第3章 保育の内容 1. ねらい・内容 (2)教育 4)言葉	A				
93	子どもの言葉の発達の過程について、保育士としての専門的な目で詳細に観察していますか		3	3		
94	あなたは、子どもの発達や理解力や生活経験に合わせた言葉を使って保育していますか		4	2		
95	あなたは、日々心のこもったあいさつを子どもと交わしていますか		5	1		
96	子どもの表情や姿をよく観察し、その場に適した言葉かけを心がけていますか		6			
97	あなたは、正しく、美しい言葉で子どもに話しかけていますか		3	3		
98	子どもがしたいこと、してほしいことを話しているとき、最後までゆったりと聞くよう努めていますか		5	1		
99	あなたは子どもが、わからないことを尋ねることができるなど、その子なりの言葉で表現する機会を大切にしていますか		6			
100	子どもが見たこと、聞いたこと、感じたことなどを、その子なりの言葉で表現する機会を大切にしていますか		6			
101	話し合いのときは、どの子どもも自分の意見を言うことのできる機会を提供していますか		3	3		
102	人の話をじっくりと聞き、その内容を理解することの大切さに子どもが気づくように働きかけていますか		5	1		
103	人の話の聞くことの楽しさを体験するよう心がけていますか		3	3		
104	子どもが人前で話すときは、相手にわかりやすく話せるように援助していますか		6			
105	絵本や紙芝居の読み聞かせをするときは、言葉の楽しさや美しさに子どもが気づけるよう心がけていますか		6			
106	子どもが絵本や物語の内容と自分の経験とを結びつけたり、想像をめぐらせるよう、読み方を工夫していますか		5	1		
107	子どもの興味や関心に合わせた絵本や物語の選定をしていますか		5	1		
108	紙芝居や絵本の読み聞かせのときには、あなた自身もその内容を楽しんでいますか		6			
109	簡単な文字や記号を使って遊ぶ楽しさを伝えていますか		3	2	1	
110	人と気持ちが通じ合う喜びを味わえるように配慮していますか		5	1		
111	「ごめんなさい」、「ありがとう」など、生活に必要な言葉をいつも使えるように保育していますか		6			
	第3章 保育の内容 1. ねらい・内容 (2)教育 5)表現	A				
112	歌ったり、踊ったりして、音や動きの楽しさに気づき、楽しめるよう援助していますか		6			
113	様々な音、色、手触り、動き、味、香りに気づき心地よさを感じる機会をつくっていますか		5	1		
114	美しいものや心を動かす出来事に触れ、イメージを豊かにできるような機会をつくっていますか		2	4		
115	子どもが様々な楽器を使う機会を提供し、音楽に親しみをもち楽しめるように工夫していますか		1	4	1	
116	ハサミや大工道具など、道具の正しい使い方を、一人一人に丁寧に教えたり、見守ったりしていますか		4	1	1	
117	子どもが作ったり表現したものを、お互いに見せ合ったりするような機会をつくっていますか		4	2		
118	生活のなかで、感動したことを伝え合う楽しさを味わえるような機会をつくっていますか		3	3		
119	感じたことや考えたことを、自由に描いたり、つくったりできる機会をもうけていますか		3	3		
120	自由に描いたりつくったりできるように、材料や用具を子どもが自由に取り出せる場所に置くなど工夫していますか		2	2	2	
121	自分のイメージを言葉などで表現したり演じたりして、遊ぶ楽しさを味わえるようにしていますか		2	4		
122	みんなで一緒に表現することの喜びを、味わえるような機会をつくっていますか		4	2		
123	人前で表現する機会や場面を、保育のなかでできるだけ多く用意していますか		3	2	1	
124	子どもがいろいろな素材に触れ、親しみ、イメージを豊かに持てるよう配慮していますか		2	3	1	
	第3章 保育の内容 2. 保育の環境					
125	季節に合わせて、保育室のインテリアなど環境に工夫していますか		2	4		
126	保育中に音楽を流すときには、選曲や音の大きさに配慮していますか		5	1		
127	保育中のあなた自身の声の大きさは、子どもにとっていつも適切な大きさですか		2	4		
128	子どもの発達に即した玩具・遊具・用具を用意していますか		2	4		
129	子どもの戸外での活動に合わせて、遊具の配置や飼育・栽培など自然環境の整備に心がけていますか		2	4		
130	クレヨン・粘土・紙や用具などを、子どもの動線に沿って配慮するなど、工夫していますか		4	2		
131	子どもの興味に合わせて、好きな遊びができるコーナーを設けるよう工夫していますか		2	4		
132	日々の保育のなかに、子どもが自由に遊べる時間帯を設けていますか		6			
133	子どもの作品を工夫して飾ったり、ていねいに保存したりするなど、大切に扱っていますか		6			

A	B	C	D
---	---	---	---

	第3章 保育の内容 3. 乳児保育	A				
134	室内の温度や湿度、換気をチェックしていますか		5			
135	授乳は、子どものほしがるときを尊重して行っていますか			1	1	3
136	抱いて目をあわせたり、微笑みかけたりしながら、ゆったりと授乳していますか		1	1		3
137	離乳食については、家庭と連携をとりながら、すすめていますか		2			3
138	一人一人の育ちやその日の体調に合うよう離乳食を工夫していますか		2			3
139	初めての食品を食べさせたときには、皮膚や便性などに異常がないか、観察していますか		3	1		1
140	おむつの交換は、やさしく声をかけながら行っていますか		5			
141	一人一人のおむつ交換する度に、手洗いを徹底していますか		4	1		
142	一人一人の生活リズムに合わせて睡眠がとれるように、静かな空間を確保していますか		3			2
143	寝返りのできない乳児を寝かせる場合には仰向けにねかせていますか		1	1		3
144	睡眠時に乳児の様子を把握する方法は、どの職員もすぐに理解できる適切な方法で行っていますか		4	1		
145	喃語には、ゆったりとやさしく応えていますか		4	1		
146	しぐさや声や動きを介して発する欲求を察知し、タイミングよく応答していますか		3	2		
147	たて抱き、腹這いなど、子どもが様々な姿勢をとれるよう努めていますか		2	3		
148	身体を適度に動かす遊びや、リズムを伴った触れ合い遊びを十分していますか		4	1		
149	季節や天候に応じて戸外遊びを行うなどの機会を設けていますか		3	1	1	
150	特定の保育者との継続的な関わりが保てるよう配慮していますか		3	2		
151	子ども一人一人の育ちについて、職員間で連携を取り職員全体で見守る体制ができていますか		4	1		
152	一人一人の子どもにいつでもやさしく対応するように努めていますか		3	2		
153	一人一人の子どもの服装、頭髪、爪などの清潔に心がけていますか		2	3		
154	眠いときに眠ることができる場所を用意していますか		1	2		2
155	気温や天候、乳児の体調に配慮しながら外気浴を心がけていますか					
	第3章 保育の内容 4. 長時間保育	A				
156	長時間保育のために、家庭的な雰囲気をつくることに配慮していますか		2	3	1	
157	長時間保育のために、好きなことをしてつろげる空間や玩具などを整備していますか		2	4		
158	長時間保育では、一人一人の子どもの要求に応じて、ゆったりと接していますか		2	4		
159	長時間保育では、クラスや年齢の違う子どもとも楽しく遊べるように配慮していますか		4	2		
160	子どものその日の様子を、確実な方法により職員間で伝達していますか		3	3		
161	次々にお迎えが来るなかで、「ママ(パパ)来ないね」など子どものつぶやきなどを受け止め、気持ちをくんで対応していますか		5	1		
162	その日の子どもの様子が保護者に確実に伝わるように、連絡帳などの内容や書き方をいつも検討していますか		5	1		
	第3章 保育の内容 5. 障害のある子どもの保育	B				
163	園での生活の仕方について、障害のある子どもの特性に合わせた個別支援計画を立てて保育をおこなっていますか		2		1	3
164	障害のない子どもの、障害のある子どもへの関わりに対し、あなたは配慮していますか		3	3		
165	障害のない子どもも障害のある子どもも、互いの良さを感じとるように配慮していますか		2	3	1	
166	障害のある子どもの保育について、園全体で定期的に話し合う機会を持つよう配慮していますか		5		1	
167	障がい児保育、特別支援教育などに関する研修に自ら進んで参加していますか		2	1	3	
168	あなたは、担当しているクラスの障害のある子どもが持つ障害について、保育士としての十分な知識を持っていますか		1	3	1	1
169	療育・医療機関などの専門機関から、必要に応じて助言を受けていますか		1	2	1	2
170	障害のある子どもの保護者の気持ちを受け止め、信頼されるよう努めていますか		2	2	1	1
171	園の保護者に、障害のある子どもに関する適切な情報を伝えるための取り組みを行っていますか			2	2	2
172	障害のある子どもの保護者と話し合う場を日常的に設け、保護者への支援を心がけていますか		1	3		2
173	障害のある子どもの保護者が就学など将来の方向を決めやすいように、相談に応じたり情報を提供したりしていますか		3	1	2	
	第3章 保育の内容 6. 子どもの人権					
174	「男(女)の子だから○○しなさい」などと、行動(態度)について、性差への先入観による固定的な対応をしないよう配慮していますか		3	3		
175	「それは女(男)の子の色」などと、服装や持ち物について、性差への先入観による固定的な対応をしないよう配慮していますか		4	2		
176	「それは男(女)の子の遊び」などと、遊び方について、性差への先入観による固定的な対応をしないよう配慮していますか		4	2		
177	「それは女(男)の仕事」などと、職業について「性差への先入観による固定的な対応をしないよう配慮していますか		4	2		
178	子どもの国籍や文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てよう配慮していますか		2	3	1	

179	子どもの人権への配慮や、互いに尊重する心を育てるよう配慮していますか		4	2		
180	あなたは、子どもの権利擁護に関する研修に参加したことがありますか		1		2	3
	第4章 保育の計画及び評価 1. 保育の計画 (1)保育課程	A				
181	指導計画を養護的側面(基礎的事項)と教育的事項(5領域)の両面を考慮して作成していますか		5			1
182	年・月案などの長期的な指導計画と関連させ、子どもの生活に即した週・日案などの指導計画を作成していますか		5			1
183	週・日案などの指導計画は、子どもの興味や関心、意欲に合わせて活動が展開できるように作成していますか		5			1
184	指導計画は、日々の保育の連続性や季節の変化を考慮して作成していますか		4	1		1
185	あなたの指導計画の反省・評価は、次の指導計画作成に反映できるものとなっていますか		3	2		1
186	日々の保育記録が、子どもの発達援助に必要であることを知っていますか		6			
187	日々の個人記録を、子ども一人一人の発達過程の把握に生かしていますか		5	1		
188	その日にあった出来事や気になる子どもの様子などを、その子どもに関わる他の職員と共有していますか		5	1		
189	子どもの個人記録などは、個人情報保護法や守秘義務に基づいて管理していますか		6			
	第4章 保育の計画及び評価 2. 小学校との連携	A				
190	保育所保育が小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることを理解していますか		6			
191	「保育所児童保育要録」に記載すべき内容について知っていますか		4	2		
192	普段の保育記録が「保育所児童保育要録」の記入に役立つように整理されていますか		3	2	1	
193	自己評価など、自分の保育を振り返る機会を定期的に持っていますか		5	1		
194	あなたの保育所を同僚などに積極的に公開し、意見を聞くなど自分の保育の自己評価につなげていますか		3	2	1	
195	あなたは園長や主任との間で、質問したり意見を交わしたりできますか		1	5		
196	園長・主任からの指示や会議などの結論が自分の意見と違うときも、それに従って気持ちよく協力していますか		3	3		
197	自分の保育実践について、園長や主任からの意見を、謙虚に受け止めることができますか		3	3		
198	あなたは園長や主任からの意見を、謙虚に受け止めることができますか		3	3		
	第5章 健康及び安全 1. 子どもの健康支援	A				
199	子どもの日々の健康状態を把握し、それを一人一人の保育に生かしていますか		6			
200	身長・体重などの定期的な計測から子どもの発育状態を把握して、日常の保育に生かしていますか		4	2		
201	身長・体重などの定期的な測定の結果を、保護者に文章で伝えていますか		4	2		
202	健康診断の結果を、子どもに関係する他の職員と共有していますか		4	2		
203	感染症が発生したとき、発生の状況や予防対策などをすぐに保護者に連絡していますか		6			
204	疾患を持つ子どもに対して、医師からの指示に基づいて対応していますか		5	1		
205	家庭では、子どもが十分に睡眠をとるなどして健康な生活リズムを身につけるよう保護者への啓発に努めていますか		5	1		
206	一人一人の子どもの出生時の状況、その後の発育・発達などが細かに把握していますか		2	4		
207	子ども一人一人の健康状態などを、職員相互で確認していますか		3	3		
208	子どもが体調悪くなったときに、医師と連絡をとれるように心がけていますか		1	3	1	1
209	子どもの与薬を要請された場合、医師の指示など留意事項の確認をしていますか		6			
	第5章 健康及び安全 2. 環境及び衛生管理	A				
210	子どもが活動しやすいように、その都度、保育室の換気や温度・湿度に配慮していますか		6			
211	その日の温度・湿度を点検し、記録にとっていますか			1		5
212	適宜、手洗い場やトイレを清掃し、清潔に保つようになっていますか		6			
213	砂場は、動物の侵入を防いだりするなど、衛生面に配慮していますか		5		1	
214	玩具・遊具については、適宜、衛生面に配慮していますか		4	2		
	第5章 健康及び安全 3. 安全管理	A				
215	子どもが危険な場所、危険な遊びがわかり、安全に気をつけて行動するよう指導していますか		6			
216	手洗い場の滑り止めをはじめ、必要な箇所の転倒防止の対策をしていますか		4	2		
217	交通安全の習慣が子どもの身につくように指導していますか		6			
218	災害時に安全に避難できるようにするための訓練を行っていますか		6			
219	不審者が園内に侵入した際、あなたはどのように対応するのかを理解していますか		1	3	2	

	第5章 健康及び安全 4. 食育の推進	A				
220	子どもが落ち着いて食事・おやつを楽しめるように、雰囲気づくりなどを工夫していますか		6			
221	偏食や残さず食べることを直そうと、過度に叱ることがないように配慮していますか		5	1		
222	子どもが栽培・収穫したもの、調理したものを食べるなどの機会をつくるよう心がけていますか		5	1		
223	自然の恵みとしての食材や調理する人への感謝の気持ちが育つよう心がけていますか		5	1		
224	食事・おやつは「おいしく、楽しく」味わえるように、時には戸外で食べたりするなど工夫していますか		5	1		
225	絵本など視聴覚教材を通じて、食べ物に興味や関心を持つことができるように働きかけていますか		4	2		
226	食べ物が、体のなかでどのような働きをするのかを、わかりやすく説明していますか		1	4	1	
227	その日の昼食の食べ具合などを、必要に応じて保護者に知らせていますか		6			
228	子どもが楽しくたべることができるように、食育の計画を作成していますか		5		1	
229	食物アレルギーの子どもに対して、医師と連絡して除去食などの配慮をしていますか		4		1	1
230	子どもの体調に応じた食事が提供できるように配慮していますか		3	3		
231	あなた自身がおいしく、楽しく食事できるよう努めていますか		4	2		
232	あなた自身が「いただきます」「ごちそうさま」と感謝をもって食事ができるよう努めていますか		6			
	第6章 保護者に対する支援 1. 保育所に入所している子どもの保護者に対する支援	A				
233	送迎の際に、保護者と必ず言葉を交わすようにしていますか		6			
234	一人一人の保護者と、必要に応じて個別に面談を行っていますか		5	1		
235	子育てや就労を支えるために、保護者の気持ちに配慮しながら接していますか		5	1		
236	あなたは、保護者の子育ての悩みや心配事を安心して話せる存在になるよう心がけていますか		4	2		
237	あなたの保育に批判的な保護者に対しても、ていねいに意見や要求を受け止めようとしていますか		5	1		
238	保護者との情報交換の内容を、必要に応じて記録していますか		4	2		
239	保護者の考えや提案を積極的に聞き、適切と思うものについては保育に取り込むように努めていますか		4	2		
240	保護者からの相談内容などを、担任一人の問題にしないで、園全体で受け止めようとしていますか		4	2		
241	子育てについて、保護者と共通理解を得るために、懇談会などの機会を設けていますか		1	2		3
242	自分の保育実践の内容や意図を、わかりやすく保護者に説明することができますか		4	2		
243	子どもの体調がよくないときなどに保護者に電話をする際、その内容がどのよう伝わるか考えていますか		5	1		
	第6章 保護者に対する支援 2. 地域における子育て支援	A				
244	虐待を疑われる子どもの情報を得たとき、要保護児童対策地域協議会や児童相談所などの機関に照会、通告を行う園の体制を理解していますか		1	4		1
245	一時保育のときにも、子どもの発熱やケガの際に、保護者に連絡をとる方法を知っていますか		6			
	第6章 保護者に対する支援 3. 地域や関係機関と連携	A				
246	子どもの医療や保健に関する問題について、連絡・相談すべきところを知っていますか		2		4	
247	園の周辺の住民と良好な関係を築けるよう、日常のあいさつなどを心がけていますか		6			
248	中高生や大学生などの保育体験を受け入れるときには、その目的や意義を理解・確認していますか		4	2		
249	実習生を受け入れるときには、意義や方針を理解し、あなたが指導的立場にあることを意識していますか		6			
	第7章 職員の資質向上	B				
250	会議などでは、子どもの最善の利益を尊重して発言していますか		5	1		
251	園の内外における研修・研究活動に積極的に参加していますか		2	4		
252	同僚のそれぞれの役割と、あなたが果たすべき役割とを理解していますか		2	3	1	
253	自分の保育実践の内容や意図を、同僚にわかりやすく説明することができますか		2	4		
254	自分の実践について、同僚から意見をきくように努めていますか		4	2		
255	研修に参加したり専門書を読むなどして、保育に関わる様々な知識や技能の向上に努めていますか		3	3		
256	保育士の人間性が子どもに影響を与えることを自覚して、研修に励んでいますか		3	3		
257	国や自治体の公刊物、インターネットなどで、保育関係の情報を日頃から収集するよう心がけていますか		3	2	1	
258	子どもの発達保障や子どもの最善の利益を考慮した保育をすすめるために園内外の研修に参加していますか		1	3	1	1
259	あなたは保育士としての人間性や倫理観を高めるために自己研鑽していますか		1	5		

社会福祉法人 揺籃会
深川西町保育所

平成29年度 保育所自己評価について

平成30年6月29日

「保育所保育指針」の第1章の3で、「保育所は、保育の質の向上を図るため、保育の計画の展開や保育所等の自己評価を踏まえ、当該保育所の保育の内容等について、自ら評価を行い、その結果を公表するよう努めなければならない。」と保育指針に明記されています。当保育所では、そのことに基づいて検討し、保育所としての自己評価を実施しました。

深川西町保育所としての自己評価と保育士自身の自己評価をまとめ、これをもとに反省等を行い、今後の保育所運営に役立てていきます。

【評価基準】

評価をするにあたっては、次の基準で行っています

Aーかなりできている(理想的な状況にある状態)

Bーほぼできている(取組などを行い、頑張っている状態)

Cーあまりできていない(通常行われている状態だが、頑張る必要がある)

Dーほとんどできていない(もっと頑張らなくてはいけない状態)

項目	評価			
	A	B	C	D
第1章 総則	A			
第2章 子どもの発達	A			
第3章 保育の内容 1. ねらいと内容	A			
(1)養護(生命の保持・情緒の安定)	A			
(2)教育 1)健康	A			
(2)教育 2)人間関係	A			
(2)教育 3)環境	A			
(2)教育 4)言語	A			
(2)教育 5)表現	A			
2. 保育の環境	A			
3. 乳児保育	A			
4. 長時間保育	A			
5. 障害のある子どもの保育		B		
6. 子どもの人権	A			

項目	評価			
	A	B	C	D
第4章 保育の計画及び評価 1. 保育の計画 (1)保育課程	A			
2. 小学校との連携	A			

第5章	健康及び安全	1. 子どもの健康支援	A			
		2. 環境及び衛生管理	A			
		3. 安全管理	A			
		4. 食育の推進	A			
第6章	保護者に対する支援	1. 保育所に入所している子どもの保護者に対する支援	A			
		2. 地域における子育て支援	A			
		3. 地域や関連機関と連携	A			
第7章	職員の資質向上			B		

保育所評価結果

深川西町保育所は、定員60名の保育所です。住宅に囲まれた地域で、小学校、中学校等が近くにあり、公園もあり、子どもたちにとっては環境に恵まれたところです。

平成29年12月に新園舎に移転しました。

自己評価は保育士で実施しております。子どもの思いをしっかり受け止めるように心がけています。

今年は評価として、A、B、C、Dの4段階 Aという結果になりました。

乳児保育の評価では関わりの無い保育士は自己評価ができないところもありました。

昨年と比較しても本年はA段階が増え、職員の意識の高さは評価できます。

毎年ですが保育環境では温湿度の計測ができていないのでDとする職員が多くいます

温湿度の計測方法が課題となりました。

今年感じましたことは保育経験の積み重ねということもあり、保育士の保育に関わる

姿勢が全体に高く評価できます。

細部で見えていきますと苦情解決システムの説明がBという職員がいて改めてマニュアルでの確認が必要と思いました。

そして職員の資質向上では倫理性を高めるための自己研鑽がBとなりました。